

糖尿病ケアサポートチーム ニュースレター

2017.4

第4版
(改定版)

発行日：平成29年4月1日 改訂日：平成30年度4月1日
発行元：糖尿病ケアサポートチーム企画運営委員会

X線・CT・MRI・核医学検査・放射線治療時の注意点

糖尿病患者に、携帯用ポンプを使用し、皮下組織のカニューレから持続的にインスリンを注入したり、皮下組織にセンサを装着し、連続的に間質液中のグルコース濃度を測定する持続グルコースモニターを装着することがあります。他に携帯用ポンプを用いてサンドスタチンの持続皮下注入療法を行う患者もいます。

これらの機器を装着したまま、上記の検査・治療を行うと、機器が故障・誤作動を起こすことがあります。必ず検査・治療室入室前に取り外しが必要です。核医学検査では、検査終了後も低線量で患者体内よりガンマ線が照射されています。検査内容により、ガンマ線が照射され続ける日数が違いますので、検査後、機器の動作、測定値に異常がないか注意深くご確認ください。注意深く確認が必要な期間は、核医学検査部門にお問い合わせください。また、リブレは神経電動速度検査時も外してください。装着側の腕で採血・点滴・注射・血圧測定もできません。

万が一、機器を装着したまま検査してしまった場合には、糖尿病看護認定看護師または、内科Ⅱ糖尿病グループ医師にお問い合わせください。基本的に機器の再装着は、リブレ以外は患者ご自身、ご家族で可能です。リブレは取り外した機器を捨てずに、ご連絡ください。他院より持ち込みの場合は、他院への連絡が必要です。

糖尿病患者さんが、こんな機器をつけていたら？

●インスリンポンプ（一部サンドスタチン使用あり）

ニプロ携帯型



針も全て外す

トップ携帯型



針も全て外す

CSII パラダイム722



針は可・ルートと機器を外す

**装着したまま
検査・治療
できません
取り外しが必要！**

●インスリンポンプ +持続グルコースモニター

●持続グルコースモニター（皮下間質液中のグルコース濃度を測定）

Free Style リブレ



針も全て外す

iPro2 (CGM)



針も全て外す

一体型

SAP ミニメド620G



* CGMは、針も全て外す
* インスリンポンプは、
針は可・ルートと機器を外す

患者基本→体内金属・金属加工業職歴→フリーコメントに『**糖尿病関連医療機器**』と入力が必要です。
入力されていない場合は、糖尿病看護認定看護師または内科Ⅱ糖尿病グループ医師までご連絡ください。

* 糖尿病看護認定看護師(CN)

看護部 11-2：佐藤仁美

* 日本糖尿病療養指導士(CDE)

看護部 11-1：原千晴 11-2：吉田憲央 4-1：松田恵

7-2：伊藤友絵 8-2：熊谷咲希

医療情報企画部：中泉晶子 中央診療部：富樫恵美

外来：棚田郁子・大嶋美紀・藤田真善美・横井亜友美

検査輸血部：山田幸穂・村上望・岩崎澄央

栄養管理部：高崎裕代・吉田ゆか 薬剤部：樋口一世



お知らせ

糖尿病に関する相談を受けつけています。ぜひ、ご連絡下さい。

内線 5815

PHS 82126

糖尿病看護

認定看護師

佐藤仁美